

令和元年 10 月 21 日
こども家庭部こども施策企画課

長期的な視点に立った教育・保育サービスの検討について

- 1 グランドデザイン構想で示す将来像（10 年後の暮らしの姿）
別紙のとおり

- 2 長期的な視点に立った教育・保育サービスの検討

目的

幼児教育・保育の無償化により保育需要の増加が見込まれる一方、将来的に区の児童人口は減少していくことが見込まれている。人口減少・少子化社会の流れの中で、多様な教育・保育サービスを選択できる環境づくりや、持続可能なサービスを提供するため、これからの教育・保育サービスはどうあるべきか、今後 20～30 年を見据えた長期的な検討を行う。

検討事項（案）

人口推計

社会動態や大規模開発等を考慮し、今後 20～30 年後の人口推計を行う。

教育・保育サービスの需要動向の把握

今後 20～30 年における幼稚園・保育所・学童クラブの需要量を試算する。

区の子ども・子育て施策に係る検証

主に 23 区を対象に、保育所待機児童対策の取組など、子ども・子育て支援施策に係る取組を情報収集し、本区の取組状況をまとめる。

教育・保育サービスの制度変遷

社会状況の変化とともに、子育てのあり方や保育制度がどのように変遷したのかなどをまとめる。

外国の制度・取組状況

外国の教育・保育サービスの制度や取組状況等を情報収集する。

202X年 秋

働きながら2人の娘を育てる30代女性

私は7歳と3歳の娘を育てる母親だ。夫や娘たちと忙しい日々を送っている。

ひとりじゃない、だから頑張れた

上の娘が生まれたとき、勤めていた会社に復職するか悩んだが、しばらく子育てに専念するため、会社は辞めることにした。

当時は夫も残業が多く、子どもと2人きりで心身ともにつらかった。そんなとき、区の産後ケアサービスを使って、助産院でゆっくり休むことができた。それに、近所に子育てのひろばがあったおかげで、育児の悩みを打ち明けられることもできた。

そんな娘も今では小学生。放課後も学校で友達と楽しく過ごしている。

娘が楽しそう、それってしあわせ

数か月前、経理の経験を活かして再就職した。子どもの将来を考えると、お金が必要になる。久しぶりの仕事で戸惑うことも多いが毎日頑張っている。

仕事を終え、保育園に下の娘を迎えに行くとき、園庭で友達とかけっこをしていた。私と目が合い、一目散で駆け寄ってくる。

『ママ!』

『いっぱい遊んだ?』

『今日ね、ママを描いたんだ!』

小さな手を取り、覚えての童謡と一緒に歌いながら帰る。クレヨンで描かれた私は笑顔だった。また一つ、宝物が増えた。

「保活」なんてむかしのこと

保育園を探すことを「保活」と呼んだ時期もあったが、今はそんな言葉も聞かない。下の娘を預けるときも、大きな苦労はなかった。子育てと仕事の両立は大変なこともあるが、いろんな子育てサービス、そして娘の笑顔に支えられている。

来週は月末で忙しいので、娘の迎えは夫と調整してみよう。



GRAND DESIGN episode 1

安心して子育てができる、子どもがいきいきと暮らせる

子育てのかたちを選択できる社会の実現

3世代同居が珍しくなかった昔、祖父母や地域の協力を得ながら、家庭で子育てを行うことは当然であるという価値観がありました。しかし、高度成長期以降、核家族化や女性の社会進出が進むなか、子育ては社会全体で取り組む事業であるとの意識が広まっています。

子育ては誰が担うべきか、様々な考え方や価値観が存在しますが、最も尊重されるべきことは、それぞれの家庭の思いです。

家庭で子育てがしたい。子どもを預けて働きたい。様々なニーズを持つ保護者に応じた社会的サービスを提供することで、子育てのかたちを選択できる社会の実現を目指します。



ねりまの未来に向けて

- 妊娠期から子育て期まで、切れ目ないサポートを行います。
- 家庭で子育てをする保護者への支援を充実させます。
- 保育サービスを更に充実し、保育所持機児童を解消します。
- 子どもたちが健やかに成長できるよう、教育を充実させます。
- すべての小学生を対象に放課後の居場所をつくります。
- 児童相談体制を更に強化します。